

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-279145(P2008-279145A)

【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2007-127453(P2007-127453)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 2 D
A 6 3 F	5/04	5 1 6 D
A 6 3 F	5/04	5 1 4 G
A 6 3 F	5/04	5 1 1 E
A 6 3 F	5/04	5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月1日(2010.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面に複数種類の図柄を含む環状の図柄列が形成された複数の可動表示体を備えた図柄変動表示装置を備え、前記図柄変動表示装置は前記複数の可動表示体を回転させて図柄の表示を変動させる一方、前記複数の可動表示体の回転を停止させて前記各可動表示体について前記図柄列の一部を構成する所定個数分の図柄群を前記図柄変動表示装置内の所定箇所に表示可能とする図柄表示部を有し、遊技価値の投入と遊技者の始動操作とにより複数の前記可動表示体の変動を開始させ、全ての前記可動表示体の停止操作が受け付けられると、前記図柄表示部に1回のゲームの結果を表示する遊技機であって、

ゲームの進行に伴う複数の演出態様を遊技機の外部に向けて実行する演出実行手段と、前記複数の演出態様からゲームの進行に応じた演出態様を選択する演出態様選択手段と、

1回のゲームごとに予め決められた複数の当選役及びハズレ役の中いずれかを選び出す抽選を行う内部抽選手段と、

前記内部抽選手段による内部抽選の結果に基づいて、回転する複数の前記可動表示体の回転停止を制御する可動表示体停止制御手段と、

前記図柄表示部内に表示された所定個数分の図柄群を複数の前記可動表示体にまたがって見た場合に、各々の前記可動表示体について少なくとも1つの図柄を選び出してできる組み合わせ態様のうち、前記当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示されたときにその組み合わせ態様を有効とする表示位置を決定する判定表示位置決定手段と、

全ての前記可動表示体が停止した場合、前記判定表示位置決定手段により決定された前記判定表示位置に前記当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示されたか否かを判定する図柄表示態様判定手段と

を備え、

前記当選役には、全て同種類の図柄からなる組み合わせ態様に対応する同種図柄揃役と、前記ハズレ役とは別に、少なくとも複数種類の図柄からなる特定の組み合わせ態様に対

応する異種図柄揃役とが少なくとも含まれてあり、

前記図柄表示態様判定手段により前記同種図柄揃役に対応する組み合わせ態様が表示されたことが判定されると、所定数の遊技価値を付与する遊技価値付与手段と、

前記図柄表示態様判定手段により前記異種図柄揃役に対応する組み合わせ態様が表示されたことが判定されると、1回のゲームに必要な最小単位数の遊技価値を付与する最小単位遊技価値付与手段と

をさらに備え、

前記演出実行手段は、

前記同種図柄揃役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示された場合には当該当選役を知らせる特別演出を実行させ、前記異種図柄揃役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示された場合には前記ハズレ役となった場合に実行するハズレ演出を実行させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記当選役として、さらに所定の図柄を少なくとも1つ含むだけで他の図柄は任意でよい図柄の組み合わせ態様に対応する単図柄揃役を有し、前記遊技価値付与手段は、前記図柄表示態様判定手段により前記単図柄揃役に対応する組み合わせ態様が表示されたことが判定された場合にも、所定数の遊技価値を付与する

請求項1に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記最小単位遊技価値付与手段は、

1回のゲームに必要な最小単位数の遊技価値として数量1の遊技価値を付与する
る請求項1または請求項2に記載の遊技機。